

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和4年 11月 24日

東員町議会

三宅耕三 様

東員町議会議員

教育民生常任委員会委員長

川瀬孝代

研 修 報 告 書

研修期間	令和4年 11月 9日（ 水 ） ～ 11月 10日（ 木 ）【 2日間】
研修（視察）先	長野県南木曾町・妻籠町並み交流センター 長野県箕輪町役場
目的（テーマ等）	小学校統廃合に係る跡地利用について 人口減少対策について（婚活支援） 地球温暖化対策について
資料添付の有無	有 ・ ○ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。



様式 1〔申し合わせ事項〕:【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 川瀬孝代 〕

南木曾町

1. 小学校統廃合に係る跡地利用について

妻籠町並み交流センター（令和 4 年度完成）の、建設に係る経過の説明では、平成 26 年地元建設委員会を立ち上げ、地元の木材を使用し、地元の木材関係事業者により建てることを理念とし（木造建築推進委員会）建築構造については、東京大学稲山正弘教授の指導による、木造による建設としています。建設工事費（206.415 千円）は、過疎対策債、国庫補助金（2 分の 1）、起債（2 分の 1）を費用としている。財政

補助金活用では、交流センターということで補助金活用ができていました。地域住民の活動として使用されて、公民館や交流館として活用されています。木材で木の組み合わせに特徴があり風情や温かみのある建物でした。少子化高齢化とともに人口減少により、小学校統廃合ということになり、学校、体育館を取り壊し施設工事となりました。

東員町においては、新東員第一中学校建設にあたり建設工事費、現在の東員第一中学校の跡地活用など課題があります。

南木曾町の人口減少という課題を抱えて、建設にあたって 8 年かかっています。

国庫補助金による建設工事費を得ることは必要です。東員町のまちづくりににおいても学校の統廃合は課題であり、考えていかなければならないことであります。

2. 婚活支援について

出会いの場では、若者が集まらない現状があり進まなかった。

社協でイベントを実施し場作りなど行う、また 6 町村広域連携事業でと考えている。

南木曾町もっと元気に戦略室を立ち上げ、総合戦略として若者が戻ってくる・移住や定住の促進・子育て世代の U I J ターンの拡大などで、毎年人口目標 20 人増をめざしてまちづくりを進めていました。

若い家族が移住や帰郷していました。

空き家活用に対して、補助金活用制度を創設、移住して暮らす取り組み、移住支援事業などを QR コードで情報提供をしています。

信州大学と連携協定し、人材の育成と人口拡大に取り組んでいました。

南木曾町は、中山道妻籠宿の歴史など重要伝統的建造物群保存地区としてあり、観光地としても有名な所です。

文化を守りつつ、人口減少の現実に関心工夫しているまちづくりに感銘しました。

有意義な視察・研修となりました。

箕輪町役場（住民環境課）

地球温暖化対策について

ゼロカーボン推進構想について（令和４年度～令和９年度）箕輪町の取り組みの説明を受けました。

地球温暖化対策実行計画を施行しています。

2021年改正の地球温暖化対策推進法に基づいて「地域脱炭素促進区域」（公共施設屋根、敷地など）設定第一号となっています。

計画策定には、環境審議会、特別委員会、ワーキンググループを設置して意見取り入れながら計画に反映をしています。

箕輪町地球温暖化対策「アクションプラン 2022」で、2030年度実質 60%削減をめざすなど具体的に示していました。

箕輪町は、ハイテク産業があり田園工業都市で発展していることから、町民と事業者・行政で取り組む中で、地域ぐるみでゼロカーボン推進プロジェクトを掲げ事業者には、協力を求めています。

町内乗用車の一部をEV化するなど事業者の事業計画を求めるなど取り組んでいます。

長野県が地域の再エネ導入を考え、太陽光発電を促進事業の第一としていることから箕輪町でも取り入れています。

また、県や国の対応を見ながら計画変更もあるとのことでした。

担当課の熱心な説明で時間が過ぎていくのが早く感じました。

東員町において、令和４年度・５年度で温暖化対策「ゼロカーボン推進計画」の策定に向けて取り組んでいるところです。

９月１日には、水谷町長が「東員町ゼロカーボンシティ宣言」しました。

また、教育民生常任委員会としても委員会活動の項目に「地球温暖化対策」を掲げたことから、箕輪町での研修は勉強となりました。

国では自治体の再エネ導入支援など、地域の脱炭素化に向けて後押しするなど取組が加速化しています。

箕輪町だけでなく、家庭の脱炭素化は最も身近な取組です。ゴミ削減や節電・節水など積極的に推進し、学校教育でも啓発をしていること大事です。

今回の視察研修を受けたことを活かして、委員会としても行政に要望や政策提案などしていきたいと思います。

充実した研修となりました。